

菊可松
今以秋花
金桂香可松
竹葉青可松
朱砂可松
新在石可松
菊可松

五喜村新三松
菊可松

本道有松最茂者年有百餘年田邊國也其木
葉如楓之葉上上景也年長其葉自落其木
葉如楓之葉上上景也年長其葉自落其木

一、此等之松上中品也松以松目五條
一、此等之松上中品也松以松目五條

一、此等之松上中品也松以松目五條
一、此等之松上中品也松以松目五條
一、此等之松上中品也松以松目五條

此指一處之入學分向...
能又由...
百千...
已...
少月
但...
此...
此...

一校校名

一合教是

山本

一石口

元中

一金百

三

一金百

道

一校校名

一金百

山本

一石口

目

一金百

三

一金百

中村

一 此の香後... 水南... 園...
中...

九

一 性事... 名... 園...
一 管... 園... 水南...
一 水南... 園...

去月

一 水南... 園... 水南...
一 水南... 園... 水南...

去月... 水南...

水南...

水南...

一 水南... 園... 水南...
一 水南... 園... 水南...

水南...

一 水南... 園... 水南...
一 水南... 園... 水南...
一 水南... 園... 水南...

百五十一
一 國史文庫
二 國史文庫
三 國史文庫
四 國史文庫
五 國史文庫
六 國史文庫
七 國史文庫
八 國史文庫
九 國史文庫
十 國史文庫

一 國史文庫
二 國史文庫
三 國史文庫
四 國史文庫
五 國史文庫
六 國史文庫
七 國史文庫
八 國史文庫
九 國史文庫
十 國史文庫

一 國史文庫
二 國史文庫
三 國史文庫
四 國史文庫
五 國史文庫
六 國史文庫
七 國史文庫
八 國史文庫
九 國史文庫
十 國史文庫

一 國史文庫
二 國史文庫
三 國史文庫
四 國史文庫
五 國史文庫
六 國史文庫
七 國史文庫
八 國史文庫
九 國史文庫
十 國史文庫

一 國史文庫
二 國史文庫
三 國史文庫
四 國史文庫
五 國史文庫
六 國史文庫
七 國史文庫
八 國史文庫
九 國史文庫
十 國史文庫

しりし

一 貴女所居の山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋
去る程の山は冬より春まで今更なる山
家より山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋

一 山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋
去る程の山は冬より春まで今更なる山
家より山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋

一 山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋
去る程の山は冬より春まで今更なる山
家より山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋

柳

山

山

山

山

山

一 山は秋の先を過ぎぬ意氣な秋

柳

山

山

山

山

山

山

しりし

一 予は此書を読み終るに於て其の旨を以て
後漢の政體を論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
尤も其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事

一 其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事

其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事

其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事

其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事

其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事
其の旨を以て論ずるに似たりと云ふ事

口開古酒の如き其の味も亦た方角一取人
勿古酒の如き其の味も亦た方角一取人
子投合式も亦た方角一取人

十一

一 酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
丁巳の事

一 酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人

酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
松の内酒の味も亦た方角一取人

酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
水野の酒の味も亦た方角一取人

一 酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
此の酒の味も亦た方角一取人

酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
善持の酒の味も亦た方角一取人

酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
善持の酒の味も亦た方角一取人

酒の味も亦た方角一取人
の如き其の味も亦た方角一取人
松の内酒の味も亦た方角一取人

十一

一 五字の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

一 所進の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

一 所進の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

一 所進の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

一 所進の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

一 所進の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

一 所進の如きもの并其様式に注意して
その如きもの並其様式に注意して

和歌山府の藩に在りし方宮能也

五年

有通和知と相平因防松城の藩に在りし
序に先達多摩通事より以て年々其藩の
西東に在りしと云々其藩の御代に在りし
百兩の藩に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし

元禄十年

二万石の藩に在りしと云々其藩の御代に在りし
門上階の藩に在りしと云々其藩の御代に在りし

一萬石の藩に在りしと云々其藩の御代に在りし
不為千石の藩に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし
其藩の御代に在りしと云々其藩の御代に在りし

和歌山府

和歌山府

和歌山府

和歌山府

一 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり

寺に坐す馬

柳宗元の詩

宿をてし 柳宗元の詩
及建の寺をてし 柳宗元の詩

一 寺に坐す馬

石の像の上へ坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば

石の像の上へ坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば

寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば

寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば
佛の面影あり 寺に坐す馬の目の中を如く如く見れば

一 在唐五十年... 志在... 五年... 事... 終...
一 志在... 五年... 事... 終...
一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...
一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

壬午月申

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

一 志在... 五年... 事... 終...

列名者共相之一年無事乃全其年

正長集

廣道指

宮殿中書

田中書

寺中書

代中書

疾中書

竹中書

新井中書

世田中書

名田相心八

市村相心八

佐佐木相心八

山本相心八

吉田相心八

津田相心八

新井相心八

將士死於井之田の事

石上重忠

石上重信

石上重基

石上重隆

石上重光

石上重成

石上重信

石上重忠

石上重信

石上重基

石上重隆

Yunanko K. Hensler

Res

12/19/10

12/20/10

Yunanko K. Hensler

Yunanko K. Hensler

Handwritten notes at the bottom of the page.

36

拾五

一、... (Main body of handwritten text on the left page)

一、... (Second line of handwritten text on the left page)

一、... (Third line of handwritten text on the left page)

傳
丙午年

一 田中... 所... 傳... 丙午年

可

一 松平... 傳... 丙午年

一 今... 傳... 丙午年

可

一 田... 傳... 丙午年

可

一 田... 傳... 丙午年

換一平下古也... 漢書... 百七之人
... 平下古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人
... 古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人
... 古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人
... 古也... 漢書... 百七之人

文化十二年十一月

一古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人

一古也... 漢書... 百七之人

任

蘇州府志卷十七

書局藏書

一版或數

口卷諸類

一合或分

口卷諸類

一曰左合

長七尺

左道字

右道字

生正月

口卷諸類

九

一勤加

十

一五

口卷諸類

口卷諸類

十一

一山

口卷諸類

一、可...
酒...
一...
...

一、所...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一合二方

貴文所

古のりる日 中野の書

一合二方

古のり

古のりる日 中野の書

一合二方

非書

古のりる日

一合二方

非書

一合二方

非書

右のりる日

古のりる日

非書

右のりる日

一合二方

非書

但し

古のりる日

非書

古のりる日

非書

古のりる日

非書

古のりる日

非書

古のりる日

非書

古のりる日

非書

但し

三書

三書

有而不可見者其類也

十

一、有而不可見者其類也

又類也

十

一、有而不可見者其類也

香油... 亦。

一、有而不可見者其類也